



▲春の訪れ 宇美川の住民(カルガモの親子)

3月定例会

| | |
|---|-----|
| 平成22年度予算 基金取り崩さず編成! | 2~3 |
| 主な事業 執行部は西小学校増築に決定 | 4 |
| 吉原農区活性化整備基金条例 新たに毎年2,000万円の積立 | 5 |
| 100歳以上の敬老金支給変更の条例 議会の指摘で撤回 | 6 |

◇発行・福岡県志免町議会 ◇編集・議会広報特別委員会
◇発行日・平成22年5月1日 ◇印刷・株式会社 三光

〒811-2292

福岡県糟屋郡志免町志免中央1丁目1-1

わが町のきらっとさん!

子どもたちが快適に、
学校生活が送れるように椅子にテニスボールをつける
活動をされている「すてっぴくらぶ」の皆さんを紹介します。



▲ボールを取り付けたイス



▲作業のようす(会員募集中です)

平成20年秋から、町内の小学校教室の椅子の足にテニスボールを装着。現在約2000人分が終了。
・南小学校こたばの教室の先生から、難聴の児童が教室内の騒音(椅子・机を動かす時の音)で指示が聞きとれない。現場の先生方も騒音への対策をとおもっておられた。
・以前から自分たちの子どもの中にも、机や椅子を移動させる時の騒音に対し、耐えられず両手で耳をふさぐ姿を見つけた。
そこでテニスボールを教室の椅子に取り付け、騒音を減らしたいと、それぞれの思いが一致し取り組みが始まり、椅子の足に取り付けやすいように切り込みを入れる活動をされています。
「障がいを持つ子の親として、地域の方々にお世話になるばかりではなく、自分達にも何か地域に貢献できる事があればと思っております」とのことです。

自分たちにもできることを

事務局



武田事務局長・吉川次長
新しく事務局体制が変わりました。
武田事務局長が新任です。

お知らせ

**次回の定例会は
6月11日より**

傍聴に是非お越しく下さい。

議会傍聴は、町民が町政に参加する機会のひとつです。是非お越し下さい。車椅子席もあります。詳細は議会事務局までお問い合わせください。

「議会だより」についてのご意見をお待ちしております。

TEL 935-1001 FAX 935-7070

議会事務局は町役場4階です。

E-mail:gikai@town.shime.lg.jp

写真募集

宇美川に生息する鳥たちを、撮っておられる土谷幸夫さんに提供いただきました。

今後も議会だよりでは、志免町の四季の写真の提供をお待ちしています。

DVDを貸し出します!

町議会を撮影したDVDを貸し出します。議会初日と最終日および一般質問をDVDに収録しています。希望される方は、図書館・役場4階の議会事務局にお越しください。

26年ぶり、基金取り崩さず編成!

枠配分予算導入

第2回 定例会

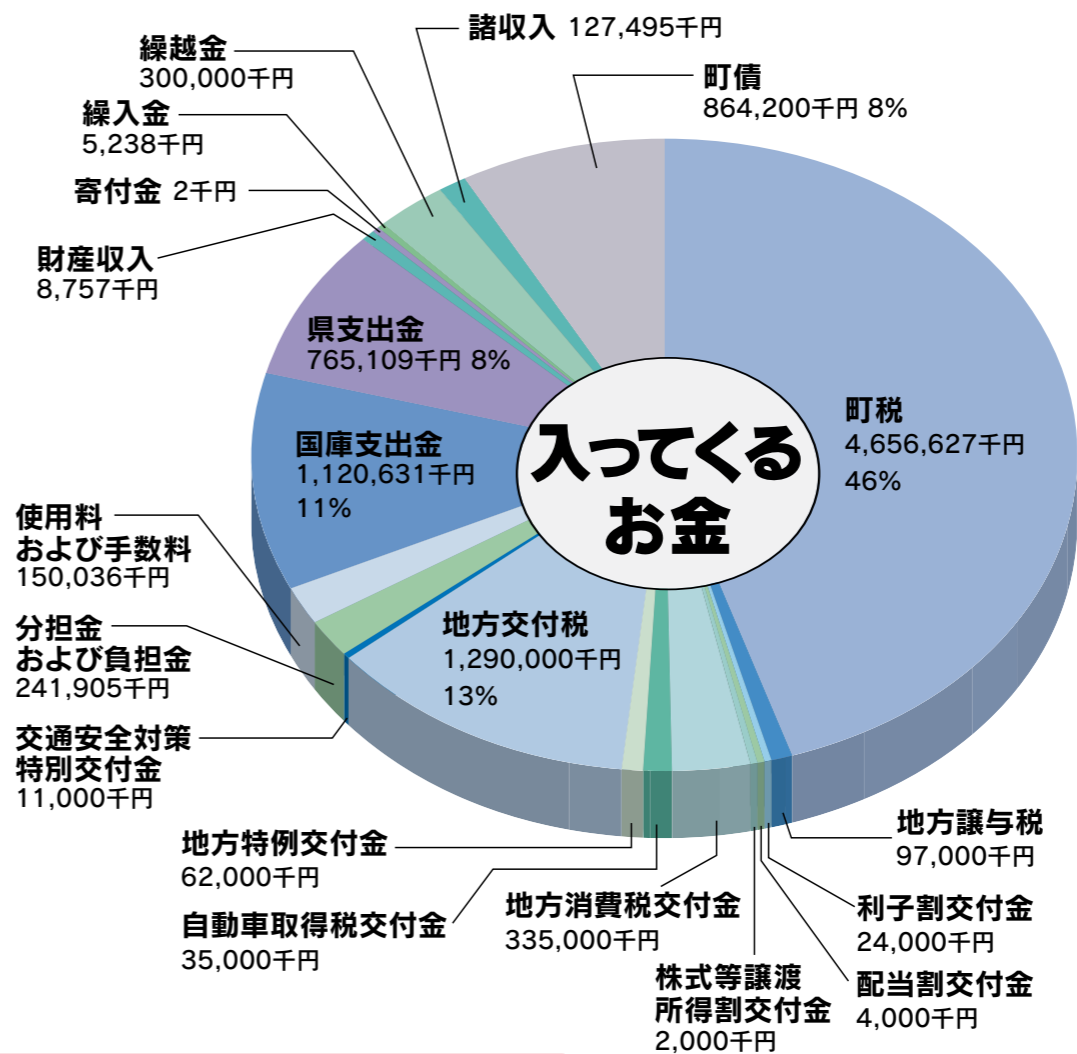
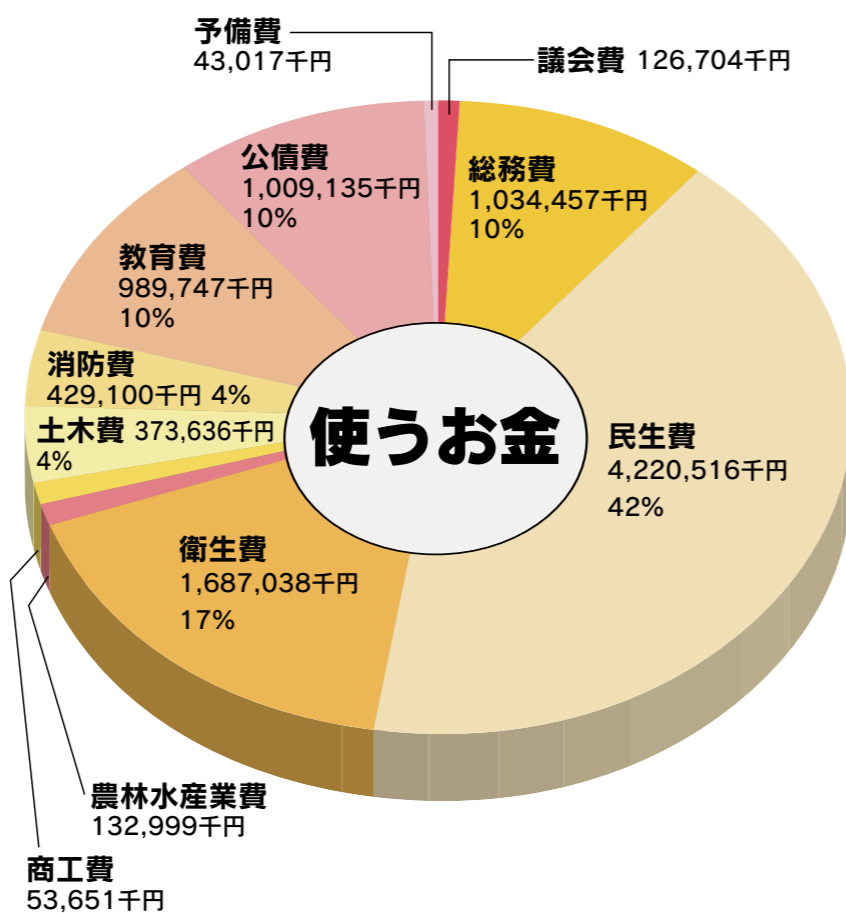
一般会計 101億円 (前年度比7.7%増)

賛成多数で採択

(賛成¹¹人、反対⁴人)

【賛成】大熊・助村・丸山・吉住・池邊・牛房・大西・稲永・熊本・大林・二宮

【反対】堤・西川・吉田・末藤



平成22年度 当初予算総額174億2,500万円

| | | | |
|--------|------------|-------|--------------|
| 一般会計 | 101億円 | 住宅新築 | 1,400万円 |
| 国民健康保険 | 42億7,400万円 | 下水道事業 | 12億5,900万円 |
| 老人保健 | 840万円 | 水道事業 | 13億4,700万円 |
| 後期高齢者 | 4億2,300万円 | | (100万未満四捨五入) |

(注) 枠配分予算……行政評価システムに基づく優先度により財源を重点施策に配分するもの

議会初！集中審議

予算特別委員会において、 吉原農区活性化整備基金 条例関連の集中審議を行う!

平成10年1月1日から平成25年9月30日までとする、浄化センター土地賃貸借契約について、引き続き平成40年9月30日まで契約更新する旨を確約する「浄化センター土地賃貸借契約更新に関する確約書」を町が関係者と交わし、これに基づき、議案上程された「吉原農区活性化整備基金条例」、それに伴う「吉原農区活性化基金積立金」年2,000万円(10年間で2億円)また、吉原農区へ交付金である「浄化センター土地利用対策交付金」300万円についての集中審議を行う。

「委員会での意見」

- すでに積んである「吉原地域活性化整備基金」の用途、他の整合性はとれるのか?
- 積み上げるなら、現在ある「吉原地域活性化整備基金」に積み上げるべきではないか
- し尿処理を広域連携で、他の自治体にお願いすることはできないのか
- 交付金300万円の意図は
- 条例文内容の不合理について
など活発な意見、質問が出された。

予算特別委員会

| | |
|------|------|
| 委員長 | 吉田議員 |
| 副委員長 | 牛房議員 |
| 副委員長 | 丸山議員 |



▲予算特別委員会

平成22年定例会が3月5日から26日(22日間)の会期で開かれました。22年度当初予算・21年度補正予算・条例改正など計30議案、請願1件・意見書2件すべて可決しました。一般質問は8日、9日の2日間で8人が行いました。

条例

(3ページ掲載関連条例)

その①

賛成多数で可決

吉原農区活性化整備基金 条例の制定

賛成9・反対6

賛成 大熊・吉住・池邊・大西・牛房・

稲永・大林・熊本・末藤

反対 堤・助村・丸山・西川・吉田・

二宮

吉原農区の活性化を図ることを目的とし新設するもの。

この条例制定については建設常任委員会へ付託されたが、町益にかかわる大事な課題であるため、予算特別委員会でも集中審議を行った。この一連の審議を受けて、執行部より原案修正案がなされた。

第5条の修正

基金は第1条の目的を達成するため経費に充てる場合限り、吉原農区及び町長と協議のうえ、処分することができる。線の部分を削除するもの。
修正を全員で認めた

○建設常任委員会付託審査報告

吉原地区は調整区域で開発もできない。浄化センター用地借用期間延長交渉で、吉原農区から一気に不満がでた。執行部の落度もあり、交渉不調に終われば今後移転・新築など莫大な財政負担が生じる。委員会でも賛否両論厳しい意見も出され、継続審査との案もあったが即決とした。



▲浄化センター付近

反対討論

丸山議員

迷惑施設のし尿処理場建設に、吉原地区はやむなく同意し現在に至る。土地利用の更新は宇美町との関係が必要だが、地元には積み立てた2億円の吉原地域活性化基金があり、活用を話し合う委員会が立ち上がる予定だ。農区のためだけの基金は理解を得られない。
農地が残る吉原の活性化に地元が一体となって行われることを希う。

二宮議員

町の大きな課題とされる、し尿処理等問題への対応の遅延をまず指摘する。今回唐突に提案された吉原農区活性化基金等の要求は、宇美町・志免町との協定と地権者との土地賃貸借契約の3年間のずれにある。然し、行財政改革を断行中の町政で社会的弱者への補助金等も大幅なカット。
血税を使わせて頂く観点からも、時間をかけて方策を考えるべき。

賛成討論

熊本議員

「農は国を治める」と言われる。農業の現状は諸問題が山積している。吉原集落営農基盤の整備、担い手育成に期待し賛成する。

22年度主な事業

西小学校校舎増築設計 733万円

地元住民からの請願は採択されたが、行財政改革の中、執行部は増築に決定し設計料が出された。



▲志免西小学校

コミュニティの部屋設置工事 900万円

松ヶ丘県営住宅地内に高齢者の居場所設置。運営維持費は町内会がもつ。

自治基本条例制定

270万円

町民・議会・行政でまちづくりを進めるためのルール制定をするための委託料

浄化センター土地利用対策交付金 300万円

浄化センター土地借用期間延長に伴い、交付する。

吉原農区活性化整備基金積立金 2,000万円

新たに毎年10年間積み立てる。

行政事力カレンダー作成事業 105万円

職員提案制度事業

子ども議会関係経費 9万円

子どもの意見表明を大切にし取り組む

水門設置・ため池改修工事など 5,812万円

内水対策及び浚渫。



▲東中学校裏門前大塚池

全員賛成で採択

一般会計

5億1,941万7千円増 総額108億7,096万8千円

補正の主なもの

●志免中学校補強・大規模改造工事 **5億6,969万円**

●公園用地購入費

4,745万7千円

土地開発公社より
公園用地の一部(写真内赤線部分)購入



▲平成の森公園

●道路改良工事費 **9,900万円**

●広域ごみ処理施設事業費負担金 **5,815万9千円減**

クリーンパークわかすぎのごみ量の減や燃料費の減などによる。

●妊婦健康診査委託料 **800万減**

1,600人の見込みが800人であった。14回の検診が平均11回分だった。

平成21年度特別会計補正

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険 全員賛成 3,366万円(増) 総額43億3,363万6千円 ・老人保健 全員賛成 5,703万5千円 ・後期高齢者医療 賛成多数(賛成14・反対1) 1,373千円(増) 総額4億1,637万5千円 | <ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業 全員賛成 4,305万1千円(減) 総額13億494万9千円 ・水道事業 全員賛成 7,499万3千円(減) 総額13億8,095万4千円 |
|--|---|

条例

その②

議会の指摘を受け撤回
敬老金の支給に関する条例の一部を改正する条例

町の財政状況等諸般の事情を考慮し、1001歳になられた方への祝金3万円を1万円に引き下げるもの。
撤回に全員賛成

職員の勤務時間、休暇等に関する条例

事務事業の増加などにより、労働時間がふえている。健康面を考慮し、60時間を越えた時間外勤務を休暇に振り替えることができるもの。
全員賛成

安全安心まちづくり条例

町民が安全で安心して暮らすことができるまちづくりに関し、基本理念を定めるもの。安全安心を脅かすものは広範囲である。行政、警察、住民が連携協力し住みよいまちづくりを形成することをめざす。
全員賛成

暴力団排除条例

暴力団が資金獲得のために、暴力を背景に多大な脅威を与えている。暴力団を志免町から排除するもの。
全員賛成

主な議案

志免町道路線の認定

今回の認定は7路線で、別府81号線、82号線、83号線、志免191号線、193号線、194号線の新規事業で合計延長は438mとなる。
全員賛成

住居表示に伴う

町の区域の設定

今回の対象区域は、別府町内会の一部、鏡町内会、アネシス町内会、御手洗町内会で、対象戸数1600戸、新住居表示は別府北1丁目から4丁目、御手洗1丁目、2丁目となる。
全員賛成

土地取得

多目的広場用地として、志免町土地開発公社より9898・5㎡を2億2049万6000円で購入する。
全員賛成

福岡県介護保険広域連合規約の変更

介護保険業務の集約化による経費の削減と公正な運営を目的とし、支部の再編を行う。
賛成多数(賛成14・反対1)

総務文教常任委員会

第三者評価が必要

行財政再構築プランは、平成17年度から21年度までの5ヶ年計画が今年度終了し、21年度の決算状況を踏まえ、全体の総括をするとの報告を受けた。自己評価での総括だけでなく第三者評価が必要であると提言している。

緊急3ヶ年財政計画

平成22年度当初予算を

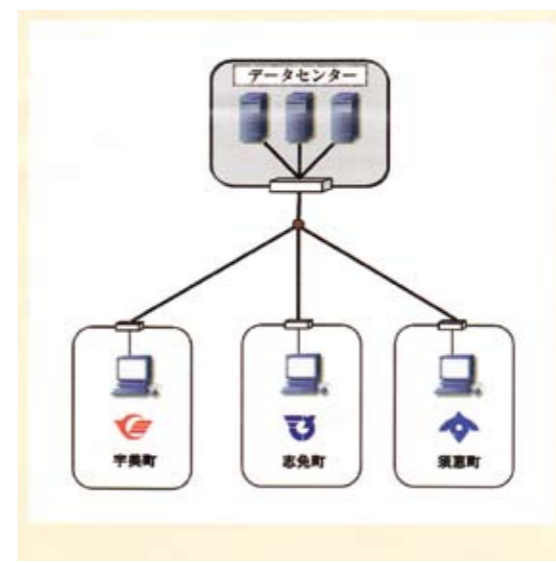
基準年度とし、景気低迷による税収の減や、児童生徒の増加に伴う教育施設への対策に加え、国でも今後地方交付税制度、地方税制の見直しが予定されており、ここ3ヶ年を何としても乗り切っていかなければならない。そのためにも緊急3ヶ年の計画をたて、財政フレームを作るとのことです。

人を減らせばよしとする安易な考えでなく、職員の人材育成を将来を見

据えしつかりやるべき、受益者負担を増やすだけでなく、収納率向上への取り組みもしつかり計画すべきと要請している。

宇美・志免・須恵業務システム再構築事業

本事業に係るシステムリース契約の業者選定方法などについて、3町協議を行った。宇美町を幹事町とし、指名競争入札または随意契約の手續により、契約を行うとの報告を受けた。



▲3町共同による電算業務イメージ図

厚生常任委員会



▲福祉巡回バス シーメイト前バス停

総合福祉施設の運営

シーメイト駐車場の有料化と福祉巡回バスをコミュニティバスとして、100円ぐらい料金を取ってはどうかとの住民の声もあり、議論している。

第2期障害者福祉計画 障害者の就労支援

以前より提案していた障害者の就労支援の説明会を障害者就業・生活支援センターと協力し、商工会だけでなく企業にも協力を呼びかけ、22年度に実施すること。

厳しい経済状況の中で障害者の働く場も難しくなっており、まずは一歩を踏み出すことができたことを委員会として評価している。

国民健康保険税 収納体制づくりを要請

国民健康保険の収納率が低いことが問題となっている。平成20年度85.3%で全国平均より下回っている。払う能力のある人からはきちっと徴収し、家庭状況によっては福祉になく体制づくりが心要である。

学童保育待機問題

現在の待機児童は0人だが、毎年度初めに待機があり、夏休み以降は少なくなる傾向がある。年度初めの待機解消とその後の定員割れ状況とのギャップをどうするか、今後協議していく。

委員会報告 (調査・研究)

町の重要な課題

建設常任委員会



▲下水道工事(亀山工業団地)

下水道特別会計を公営企業会計に移行

工事業も終わりに近づき、百数億円の起債を抱えている。経営内容の把握、分析ができるように要請。

都市計画街路志免宇美線の促進

宇美町側の用地買収予定面積は、約2万3260㎡で21年度末までの買収面積は1万7830㎡で77%の買収率。1工区7年の事業計画だったが、

上水道事業の経営

給水人口の伸び、水洗化率の上昇に対し、不況による大口受給者の水控え、料飲店等の需要減、一般家庭の節水があると推測している。

プラスチック製容器包装類製品比率 82%まで向上

志免町のプラスチック製容器包装類の分別が悪いとの指摘を受けたこともあり、啓蒙啓発に努めた結果、要望や苦情はほとんどない。搬入量も減少している。今後も製品比率を上げるため啓発の必要がある。

議会運営委員会

町長報告を要請

町長の町政担当任期残り1年の総仕上げとして議会初日に施政方針を行うべき。また、政権が変わったことにより町政への影響、県町村会の事件等、町民の関心も大きく町政報告をすべきとの全会一致を受け、議長より町長へ要請した結果、町政報告をすることになった。

22年度も21年度同様議

長を除く全員による予算特別委員会を設置することとなった。

議員定数問題を検討

議員定数問題について近隣町も削減を行っており、町民から請願の動きもある。これらの状況を考慮し、どういう形でこの問題に取り組みかその方法等について、これから審議を始めていく。

素案完成

議会基本条例については素案ができ上がり、閉会中に審議し6月議会には上程できればと思っている。

志鉦跡地対策特別委員会



自然活用型のボタ山開発の整備方針に従い、3町の委員が、共同の認識を持つため視察実施に向けて、須恵・粕屋町との調整を行っていく。またSNC(株)に貸し付けている用地の一部(約5,088平方メートル)が返還。

ズバリ町政を問う

● 一般質問とは議員が町政全般（一般事務・事務の執行状況・将来に対する方針など）について、町長など執行機関の考えを議員個人として問いただすことです。

● 一般質問は会議録にもとづき議員個々の自由編集で掲載しております。詳細は会議録（HP・図書館・各公民館に置く）をご参照ください。掲載は質問順としています。

西小児童増 増築で対応するのか

答弁：十分対応できる



牛房 良嗣 議員

牛房 福岡市では、今度35人学級を推進する。当町の場合は増築で対応できるのか、また体育館など施設の運用は。学校教育課長 児童数増のピーク、平成27年度

において、35人学級にも対応できる。運動場、プールは基準をクリアしているが、体育館は補強及び大規模改造工事などで対応する。牛房 小、中学校の校区再編は、全町的な議論を。町長 町内会再編と連動する、住居表示が完了した時点で検討したい。

牛房 65歳以上の高齢者にかかわる医療、介護、健康づくり等々、多岐にわたる50以上の事業を5つの課で担当している。一括一元化する高齢者支援課の実現を。町長 今、検討している。



▲健康づくり教室のようす

高齢者支援課の創設

答弁：今、検討している

【その他の質問】
● 町会の汚職事件
● 役場の組織改革
（人事課の創設と税務課の個室化）



▲小学校の授業のようす

発達支援

支援協議会を設置

答弁：断固たる対応でいく



吉田 耕二 議員

吉田 関係機関をお子さんを中心にも有機的に結合させ、密なる情報交換を行なっていく、そのような支援協議会を定期的に開催できないか。学校教育課長 教育相談室の職員、幼稚園、保育

園の担当者、子育て支援課を含めた会議を開催すれば、幼・保から小学校へのスムーズな連携ができ、保護者、児童の不安解消に向けた支援ができる。断固たる対応を進める。

置がスタートしている。東京都では、地域への公開を原則に、土曜日の授業を容認している。当町でも検討しては。教育長 学校、地域、保護者の理解、協力が必要。これらの問題がクリアできれば、学力向上の観点からは可能。検討はしていくが、非常に厳しい問題もある。

土曜日に授業の実施

答弁：検討はしていく

吉田 学習内容を増やす新学習指導要領の移行措

国民読書年 20歳の20冊企画事業

答弁：費用対効果心配する



二宮 美津代 議員

二宮 若者の読書離れが言われて久しい。特に20歳以上の人たちが一ヶ月に一冊も読まない人が多い。自治体が新成人に本を贈る事業を企画しては。

町長 本当に本を読んでもくれるのかと、費用対効果を心配する。二宮 国民読書年を契機に、読書への環境整備を。町長 一人約1000円として約40万円の費用となる。国民読書年を迎えており、しっかりと検討をしてみる。

ない問題、日常的なしつけの習慣づけ、耐性のなさなど三者一体となった連携で保護者へも支援を。学校教育課長 幼稚園児及び保育園児等について、必要な情報の共有などの指導に努め、関係者の交流の機会を設ける。

幼・保・小三者連携を

答弁：交流の機会設ける

二宮 入学時学校に慣れ

【その他の質問】
● 子宮頸がんへの対策
（ワクチン接種公費負担）



▲元気な子どもたち(あかつき幼稚園)



▲重要文化財の指定を受けた竪坑槽

重要文化財 補修・修理が必要

答弁：文化庁と協議しながら

堤 学芸員の調査研究、資料づくりの下、竪坑槽を活かす住民の会、槽を愛する住民の熱い思いで、国の重要文化財に指定された竪坑槽の保存と活用は、生涯学習課長 修理の基



堤 久美子議員

堤 まちづくり支援室設置の目的は 答弁：協働事業の推進

本方針を作成し、保存管理活用計画を数年のうちで作成する段階で活用の仕方も検討していく。 堤 他の史跡等にも目を向け、貴重な出土品を竪坑槽近辺に保存し、見ることができると付加価値がつく。 総務課長 総務課の所管で、啓発、仕組みづくり、協働に関する情報の収集、整理を行う。各担当が協働に関する事務事業を行っているので、連携をし町行政を進めていく。 堤 町が抱えている課題、住民のニーズを把握し、住民の知恵と行動でまちづくりができる。そのため、協働交流課等を設けて、みんなで話し合える交流の場が必要。



丸山 真智子議員

11年の町政

自分の採点は何点か 答弁：評価は住民がする

丸山 南里町長の任期は第4次総合計画とダブっている。評価がはっきりしない。 3期目の残り1年をどうするか。 町長 第4次総合計画は数値目標を掲げている

丸山 小学1年生に不適応状況の「小一プロブレム」の対策 答弁：副担任は難しい

丸山 小一プロブレムの対策 答弁：副担任は難しい 丸山 重要文化財となった竪坑槽のいろいろな活用

かだったので評価は難しい。 最終年は健康づくり、子育て支援、安心・安全のまちづくり、協働のまちづくりの4点を重点的に進めていく。 元気な町を目指したい。

レム」が全国的に問題となっている。 志免町の状況と対策はどうなっているのか。 副担任制はできないか。 学校教育課長 情報は幾分あるが、学校から問題として入っていない。 教育長 副担任をつけることは町単費では難しい。



▲町長の答弁のようす



▲投票のようす

選挙立会人

選任方法オープンに

答弁：協議し前向きに進める



助村 千代子議員

助村 投票管理者、投票立会人の選任の方法は。 住民課長 選挙管理委員会の委員の方をお願いしている。 助村 委員の方は御苦労されていると思うが、毎回従事している方の、こ

れまでの選任の仕方では住民は不信を抱いている。 青年・若人の登用を含め、広報紙、ホームページ等で公募もすべき。 住民課長 協議した上で前向きに進めたい。

の防止に関する条例」が施行され10年になるが、条例は機能しているのか。 生活環境課長 罰則がある条例のことは、機会をとらえ啓蒙等行っている。 罰則まではいかない。 助村 ダイレクトメールやマナー講座等で愛犬家の意識の高揚を図られた。 町長 強くマナー向上に向けて取り組んでいく。

犬の糞害防止の啓発を 答弁：マナー向上に努める

助村 飼い犬のふん害に住民は、大変迷惑をしている。「飼い犬等ふん害

税収対策 徴収体制の充実強化

答弁：現在検討している



西川 蓉子議員

西川 町財政が非常に厳しい状況の中、税の徴収率を上げることは緊急の課題である。 一日でも早く徴収体制の充実を図るべきであると思うが。

西川 すばらしい可能性を秘めた子ども達に対し、どのような能取りを

されるのか。 新教育長に熱い心を伺う。 教育長 単に知識を習得する学力形成にとどまるのではなく、知、徳、体をバランスよく兼ね備えた人間として生まれ、子どもたちが将来、志免町で育つてよかったと言えるような教育を誠心誠意推進したい。

総務課長 今回の提案及び総合計画、宇美町・須恵町・志免町の3町共同電算化等を総合的に含め、機構改革プロジェクト会議の中で現在検討を進めている段階です。 新教育長の指針は 答弁：教育環境の整備に努める



▲検討中の税務課体制

委員会審査は 県下最多

6月議会までの調査内容

| 委員会名 | 所管事務等調査事項案件 |
|------------------|--|
| 議会運営委員会 | 1. 議会運営に関する事項 2. 志免町議会基本条例策定 3. 志免町議会議員定数問題 |
| 総務文教常任委員会 | 1. 学校教育 ①志免中学校区における小・中連携 ②志免西小学校の増改築等に関する事 2. 行財政改革 ①行財政再構築プランの自己評価と緊急3カ年財政計画の取組 ②機構改革と人材育成 ③自治基本条例 ④宇美・志免・須恵、業務システム再構築事業 |
| 厚生常任委員会 | 1. 学童保育と保育行政 2. 総合福祉施設「シーメイト」の運営 3. 志免町高齢者保健福祉計画 4. 医療制度改革と健康づくり |
| 建設常任委員会 | 1. 上下水道事業 ①上水道事業の経営 ②下水道事業の経営 2. 都市計画街路「志免・宇美線」の促進 3. 内水対策 4. 防災、防犯に関する事 |
| 志免跡地対策特別委員会 | 1. 旧志免鉱業所ボタ山開発推進に関する事 |
| 福岡都市圏広域行政調査特別委員会 | 1. 福岡都市圏の広域行政に関する調査研究 |
| 議会広報特別委員会 | 1. 議会広報の発行に関する事項 |

※閉会中、議会と議会(年4回の定例会)の間に重要な案件を調査、研究する。内容は委員会報告をご覧ください。

【平成20年度の委員会開催回数】 ※定例会以外

| | |
|-------------------|-----|
| ・常任委員会 | 42回 |
| ・議会運営委員会 | 13回 |
| ・志免跡地対策特別委員会 | 2回 |
| ・福岡都市圏広域行政調査特別委員会 | 3回 |
| ・議会広報特別委員会 | 25回 |
| ・合併問題調査特別委員会 | 2回 |



▲そろばんに挑戦する園児たち(通山保育園)

先進地から 学ぶ

委員会視察研修

通山保育園では、園児たちだれもが読み、書き、計算をマスターし、跳び

です。

【視察先】
鹿児島県志布志市
私立通山保育園

【目的】
●ヨコミネ式幼児教育法の保育
【日程】2月15日～16日

箱を軽々と跳び、鍵盤ハーモニカを自在に演奏ができます。別に英才教育をしているわけではなく、人間の才能である心の力、体の力をつけさせ、子どもたちが生まれながらに持っている可能性を、最大限に引き出すための教育を行っているとのこと

働き方もさまざまな親の状況で、早朝から夕方まで預かる子育ての大事な時間を、家庭環境で差がつかないように、自立できる人に育てる保育をしているのだと、横峯理事長が話されました。志免町でも、町の保育方針に基づいて保育が行われているが、独自性や個性を出すため、参考になるよい点は取り入れていただきたいと行政に要請した。

自立できる人を育てる保育

厚生常任委員会



堅坑槽の基金創設

保存するにも崩すにも金がかかる。堅坑周辺の基金として、年1000万円ぐらい積み立てを。

[稲永議員・平成18年3月定例会での質問]

将来貴重な資金となることを考え検討したい。
(町長答弁)

※現在まで、まったく検討されていない。



▲ボタ山から堅坑槽をのぞむ

介護認定

志免町の実態をつかめ

答弁：広域連合で扱っている

末藤 省三議員
末藤 介護認定制度の改悪が横行された、要支援、要介護1への軽度者の非該当がふえているのか、実態はつかんでいるのか。



末藤 省三議員

広域連合全体では、非該当が6・58%だったのが2・71%に低下している。要支援1の割合も同様に25・9%から23・9%に低下している。末藤 認定度が変わった場合どのようなサービスが受けられないのか。福祉課長 要介護1から要支援2になった場合、ホームヘルプサービスが13時間から3時間になる。

末藤 老老介護をはじめ、介護疲れ、家族介護による離職者など実態調査が必要と思う。志免町として独自のヘルパーで調査することはできないのか。町長 地域福祉という観点から町内会長さんが把握してあると思うので、一定の状況は見えていないかと思う。調査はさせていただく。



▲通所型介護予防事業(各校区の病院で)

議会あれこれ

議長からのメッセージ



古庄議長

**志免町の舵取り
議員も真剣に！**
**平成の大合併最終
問われる議会の真価**

二年前の「しめ議会だより」47号に「議会あれこれ」のコーナーを設けて頂き、今回56号、その47号のトップニュース



▲人事案件投票のようす

は、粕屋中南部6町の「法定合併協議会」設置の議案が志免町では一票差で可決したが、粕屋・久山、両町議会の否決にて破綻したニュースでした。そして、今年3月31日、現行の市町村合併特例法が期限切れとなり「平成の大合併」が終結し、これで全国の自治体は半減、九州では517の自治体が233に、福岡県は97が60となりました。

また昨年夏、本格的な政権交替がなされ、地方主権の推進が強く叫ばれ、地方自治にとって益々自治運営の真価が問われる時代となります。

昨年11月に香川県宇多津町で、全国の10歳未満の自治体を対象にした「全国コンパクトタウン議会サミット」が開催され参加いたしました。「小さな町でもどう生き残っていくか」真剣な議論が始まりました。

これからの志免町を、合併を含めどう舵取りしていくのかは、町民の皆様と共働しながら、二元代表制の首長と議会がしっかりと判断しなければならず、議会への期待と責任も大となります。

「議会基本条例」制定へ

ある新聞の記事に「最近、首長が住民の声を直接聞くのは議会が機能していないから」との記事がありました。

全国で進む議会基本条例の制定、通年議会のスタート等々。これらは全てこれからの自治運営への議会のあり方の危機感からの動きです。

志免町も6月、遅くとも9月議会までには「議会基本条例」を制定する予定です。信頼される議会、開かれた議会の構築に引き続き努力いたします。

議員定数問題を検討

地方自治運営の最高決定機関である議会の議員選挙が来春行われます。

「地方主権」の時代に即した議会のあり方を真剣に考え、現在の16名体制について、これから議論を行います。建設的な皆様のご意見をお待ちしています。

(記・議長・古庄)

※議会・議員へのご意見をお待ちしております

◆議長へのメール：simegityo@yahoo.co.jp



請願(要望・陳情)・意見書

| 請願 | 請願者 | 内容 | 採決結果 |
|--------------------|--------------------------|--|---------------------|
| 郵政民営化の抜本見直しに関する意見書 | 郵政産業労働組合九州地方本部執行委員長 森田佳人 | 1. 国民の権利として「郵便」「貯金」「保険」のユニバーサルサービスを全国あまねく公平に保障すること。 2. 郵便局ネットワークは、生活弱者の権利を保障し、格差を是正するとともに、ワンストップ行政の拠点として活用すること。 3. 郵便、貯金、保険の三事業を一体にして一体経営とすること。 4. 株式は将来とも売却せず、政府が責任を持つ経営形態とすること。 | 賛成多数で採択 国へ意見書を提出 |

| 意見書 | 提出者 | 内容 | 採決結果 |
|--|------|--|---------------------|
| 県政・県町村会汚職事件の徹底説明及び再発防止のための政治倫理条例制定を求める意見書 | 末藤議員 | 福岡県町村会の「裏金」接待に端を発した汚職事件は、地方自治をふみにじた今回の事件の全容の解明と再発防止のため、①知事は、自らの責任を明確にするとともに、全容を解明し県民に報告すること。②実効ある政治倫理条例を制定すること。 | 全員賛成で採択 県へ意見書を提出 |
| 「ヒロシマ・ナガサキ議定書」の核拡散防止条約再検討会議での採決に向けた取り組みを求める意見書 | 助村議員 | 2010年に開かれる核拡散防止条約再検討会議で、平和市長会議が提案する「ヒロシマ・ナガサキ議定書」の採択に向け、核保有国を始めとする各国政府に働き掛けると共に、政府が国際的な核軍縮・不拡散の実現に向け、積極的な役割を果たすよう強く要請する。 | 全員賛成で採択 国へ意見書を提出 |

2月 臨時議会

第1回

2月19日開催

平成21年度一般会計補正予算(第8号)

3億6289万円増。総額を103億5155万円

賛成多数(賛成14・反対1)

歳入は国からの学校情報通信技術環境整備事業費補助金、地域活性化・経済危機対策臨時交付金など町債(借り入れ金)、基金繰入(貯金のとり崩し)。

- 庁舎屋根防水改修工事 1366万円
- 多目的広場用地購入費 2億5031万円
- 道路改良舗装工事費 2500万円
- 小中学校施設整備工事 1175万円
- 総合公園テニスコート改修工事 3350万円
- 公民館外部等補修工事 854万円
- (石橋台・吉原・志免四町内会)



▲33年目を迎え、年間約8000人が利用するテニスコート